

ネフローゼ症候群

英語名 : nephrotic syndrome

A. 患者の皆様へ



ここでご紹介している副作用は、まれなもので、必ず起こるというものではありません。ただ、副作用は気づかずに放置していると重くなり健康に影響をおよぼすことがあるので、早めに「気づいて」対処することが大切です。そこで、より安全な治療を行ううえでも、本マニュアルを参考に、患者さんご自身、またはご家族に副作用の黄色信号として「副作用の初期症状」があることを知っていただき、気づいたら医師あるいは薬剤師に連絡してください。

腎臓より尿中に大量の蛋白が出て、体内の蛋白が減少することにより体に色々な不都合が出てしまう状態をネフローゼ症候群といいます。糸球体腎炎、糖尿病、膠原病など元々ある病気により起こることが多いのですが、解熱鎮痛薬、抗リウマチ薬、抗生物質、インターフェロン製剤、降圧薬などの医薬品により引き起こされる場合があります。

医薬品を使用後に、次のような症状がみられた場合には、ネフローゼ症候群になっている可能性があります。放置せずに、ただちに医師・薬剤師に連絡してください。薬によるネフローゼ症候群は一般に原因となった薬の服用を中止することにより改善することが多く、糸球体腎炎、糖尿病、膠原病などによるネフローゼ症候群に比較し治療しやすいと考えられます。また、検尿などの検査を定期的に受けていると、早期に発見され、症状が出ないうちに治療できる可能性が大きくなります。

「足がむくむ」、「尿量が少なくなる」、「体がだるい」、「排尿時の尿の泡立ちが強い」、「息苦しい」、「尿が赤い」

1. ネフローゼ症候群とは？

ネフローゼ症候群とは、色々な原因で腎臓の糸球体という血液をろ過する器官より血液中の蛋白が多量に漏出し、血液中の蛋白が減少した状態をいいます。血液中の蛋白が減少すると、通常蛋白の50%以上を占めるアルブミンという蛋白が減少します。アルブミンは色々なものを運ぶ働きがあり（日本の流通の中心となっているトラックと同じです）、多くの薬や水なども運びます。皮膚、腸など多くの組織から余分な水を腎臓まで運んで尿として排泄させる働きがあるのですが、アルブミンというトラックが減少すると、組織に余分な水が残ります。余分な水が組織にあふれる状態が「むくみ」です。また肺などに余分な水があふれると「息苦しさ」が現れます。腎臓に水が十分運ばれないので「尿量が少なくなる」こととなります。また、尿に蛋白が多く含まれると「尿の泡立ちが強い」こととなります。糸球体に起きる障害が強い場合には、血液中の赤血球なども蛋白と一緒に尿中に出ることがあります。そのようなときには「尿が赤い」という現象が起きます。体に余分な水が増えるので、体重が増加します。体が重い、息苦しい、腸がむくむので食欲が落ちるなど多くの症状が知らずに重なり「体がだるい」と感じるようになります。

ネフローゼ症候群の診断基準（1. と 2. は必須です。）

1. 蛋白尿：1日尿蛋白 3.5g 以上の持続
2. 低蛋白血症：血清総蛋白 6.0g/dL 以下
(血清アルブミン 3.0g/dL 以下)
3. 高コレステロール血症：血清総コレステロール 250mg/dL 以上
4. 浮腫

基準値を下に示します

蛋白尿：1日0.1～0.15g以下

血清総蛋白：6.5～8.2 g/dL

血清アルブミン：3.9～5.1 g/dL

血清総コレステロール：125～219 mg/dL

＜他剤と比較してネフローゼ症候群になる頻度が高い薬＞

1. 非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）
通常の痛み止め、解熱薬
2. 主として関節リウマチの治療に用いられる注射用金製剤
金チオリンゴ酸ナトリウム
3. 関節リウマチの経口治療薬
オーラノフィン、ブシラミン、ペニシラミン
4. 抗腫瘍壊死因子抗体製剤
インフリキシマブ、エタネルセプト
5. インターフェロン製剤
10数種類におよぶ製品があります



※ 医薬品の販売名、添付文書の内容等を知りたい時は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページの、「添付文書情報」から検索することが出来ます。

(<http://www.info.pmda.go.jp/>)

また、薬の副作用により被害を受けた方への救済制度については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページの「健康被害救済制度」に掲載されています。(<http://www.pmda.go.jp/>)